

「南南協力」の有効性を各国が議論 —南南協力ハイレベル会合—

01



(上)南南協力の推進に向け、各国関係者が議論を交わす©UNDP  
(下)エルサルバドル人看護師が、近隣4カ国で看護指導者育成に協力

\*P4~19に関連記事

途上国の中でも比較的開発の進んでいる国が、自国の経験や強みを生かし、他の途上国を支援する「南南協力」。言語や地理的条件、文化的背景が似ているため、効率的・効果的に開発課題に取り組むことができるこの枠組みを、日本は1974年以降、他の援助機関に先駆け積極的に支援してきました。

JICAは、2008年から国連開発計画(UNDP)などとの共催で、南南協力推進に向けた議論の促進と経験の共有を目的とした、「南南協力ハイレベル会合」を毎年開催しています。三回目の今回は、2010年11月23日、スイス・ジュネーブで開かれ、南南協力に関係する政府の局長級約170人が参加。サイドイベントでは、JICAがエルサルバドルを拠点に取り組む「看護基礎・継続教育強化プロジェクト」が、南南協力の好事例として保健分野の「優秀賞」を受賞しました。

JICAが07年から実施している同プロジェクトは、JICAが長年エルサル

バドルで続けてきた「看護教育強化プロジェクト」で育成された看護師が、そこで身に付けた技術と知識を生かし、近隣4カ国の看護指導者の能力向上に協力するというもの。プロジェクトを通じて経験の共有が容易になるなど、エルサルバドルと近隣4カ国の連携が進み、持続性とともにその効率性も高く評価されました。

近年は、「新興ドナー」の登場、民間企業やNGOといった援助の担い手の多様化などにより、南南協力への世界の関心が一層高まっています。また、気候変動や感染症など、国境を越えた地球規模の課題に取り組むため、従来の「ドナー国―途上国」という二国間での援助や国際機関を通じたものだけでなく、近隣地域での、あるいは地域を超えた途上国間での協力も重要となつていきます。

JICAでは、今後も途上国の自立的な発展を尊重しながら、革新的・効果的な南南協力の取り組みを、積極的に支援していく考えです。

「ODA見える化サイト」「ツイッター」で情報発信中!

02



JICAツイッター・トップページ



ODA見える化サイト

「ODAが見える。わかる。」をテーマに、JICAは外務省と協力し、政府開発援助(ODA)のプロジェクトの内容や活動の様子を、たくさんの方々の現場の写真・声とともに分かりやすく伝える「ODA見える化サイト」を開設しています。ODAプロジェクトがどのような成果を生んでいるのか簡単に確認できるようになっており、今後も掲載案件をどんどん増やしていく予定です。

また、今話題の「ツイッター」では、JICA広報室報道課によるタイムリーな「つぶやき」が続々と発信されています。どうぞお見逃しなく!

ODA見える化サイト  
URL: [www.jica.go.jp/oda/](http://www.jica.go.jp/oda/)  
JICAツイッター  
URL: [twitter.com/jica\\_direct](https://twitter.com/jica_direct)

身近なテーマから世界を知ろう@地球ひろば

03



東京・愛知両地球ひろばでは、2月27日まで企画展を開催中!

■東京(JICA地球ひろば)企画展「地球の子どもたち―学校に行きたい!」  
世界には、学校に通いたくても通えない子どもがたくさんいます。そんな現状を知り、学校の意味について考え直してみませんか?  
会期: 2月27日(日)まで  
平日10時~20時 / 土日祝10時~18時(月曜・年末年始休館)  
※企画展関連セミナー「児童労働をなくすために今、何が必要か―児童労働の現状と撤廃に向けた課題―」を開催。  
1月19日(水)18時半~20時  
問: 0120-767278  
URL: [www.jica.go.jp/hiroba](http://www.jica.go.jp/hiroba)

■愛知(なごや地球ひろば)企画展「マネー、世界格差とお金のカンケイ―変えよう!わたしのお金で世界の不等等―」  
世界の格差をなくすため、みんなが豊かになるため、私たちにできることって?  
会期: 2月27日(日)まで  
10時~18時(月曜・祝日・年末年始休館)  
問: 052-533-0220  
URL: [www.jica.go.jp/nagoya-hiroba](http://www.jica.go.jp/nagoya-hiroba)